

港区立図書館（みなと図書館・  
麻布図書館・赤坂図書館）  
指定管理者候補者選考委員会  
報 告 書

令和5年7月6日

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会

# 目 次

## はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	2
II	選考経過について	3
III	選考対象者について	6
IV	選考結果について	6
V	最終選考結果について	10

## はじめに

本報告書は、港区立図書館（みなと図書館・麻布図書館・赤坂図書館）の指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立図書館指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立図書館指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、図書館の設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立図書館（みなと図書館・麻布図書館・赤坂図書館）指定管理者候補者には、3事業者から応募があり、様々な提案を受けることができました。いずれの提案も現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた大変優れた提案であったため、選考作業は困難を極めましたが、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと大変喜ばしく感じています。

応募いただいた事業者の皆様には深く感謝するとともに、選ばれた事業者には、港区立図書館条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待します。

令和5年7月6日

港区立図書館指定管理者候補者選考委員会  
委員長 松本 直樹

# I 選考した指定管理者候補者について

## 1 指定管理者候補者

名称	ナカバヤシ株式会社 東京本社
代表者	本社長 淡路 克浩
所在地	東京都板橋区東坂下二丁目5番1号

## 2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立みなと図書館	東京都港区芝公園三丁目2番25号
港区立麻布図書館	東京都港区六本木五丁目12番24号
港区立赤坂図書館	東京都港区南青山一丁目3番3号

## 3 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年）

## 4 選考の理由

- (1) 地域に根差した図書館を実現するために地域特性に応じた館を運営することについて十分に地域を分析したうえで具体的な提案がされており、地域特徴にあった管理・運営となることが期待できます。
- (2) 様々なチャネルを使った情報発信や、地域の異業種とコラボした「図書館×○○プロジェクト」など、読書や図書館利用へのきっかけづくりを意識した提案事業が多く、新規利用者の増加をねらう施策が評価できます。
- (3) デジタル化の促進や情報発信の強化などといった課題に対する対応や書架の配置やレファレンスの強化等の館内の利用環境における改善点について具体的な提案がされるとともに文庫本の装丁ワークショップやアルバム作りイベントの実施などの新しい事業提案においては自社の経験に基づく事業展開が期待でき、今後の図書館サービスの更なる充実が期待できます。
- (4) 港区及び港区立図書館の現状について十分に把握されており、プレゼンテーション時にも誠実さが伺え、図書館を運営していくに当たっての意欲と熱意が評価できます。
- (5) 防災への取組について、危機管理に関する訓練・研修の継続的な実施が予定されていることや、図書館として防災に関する情報発信を行うことにより、区民等の防災意識の向上を図る取り組みなどが評価できます。

## Ⅱ 選考経過について

### 1 選考の方法

#### (1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者を選考しました。

#### (2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた) 総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

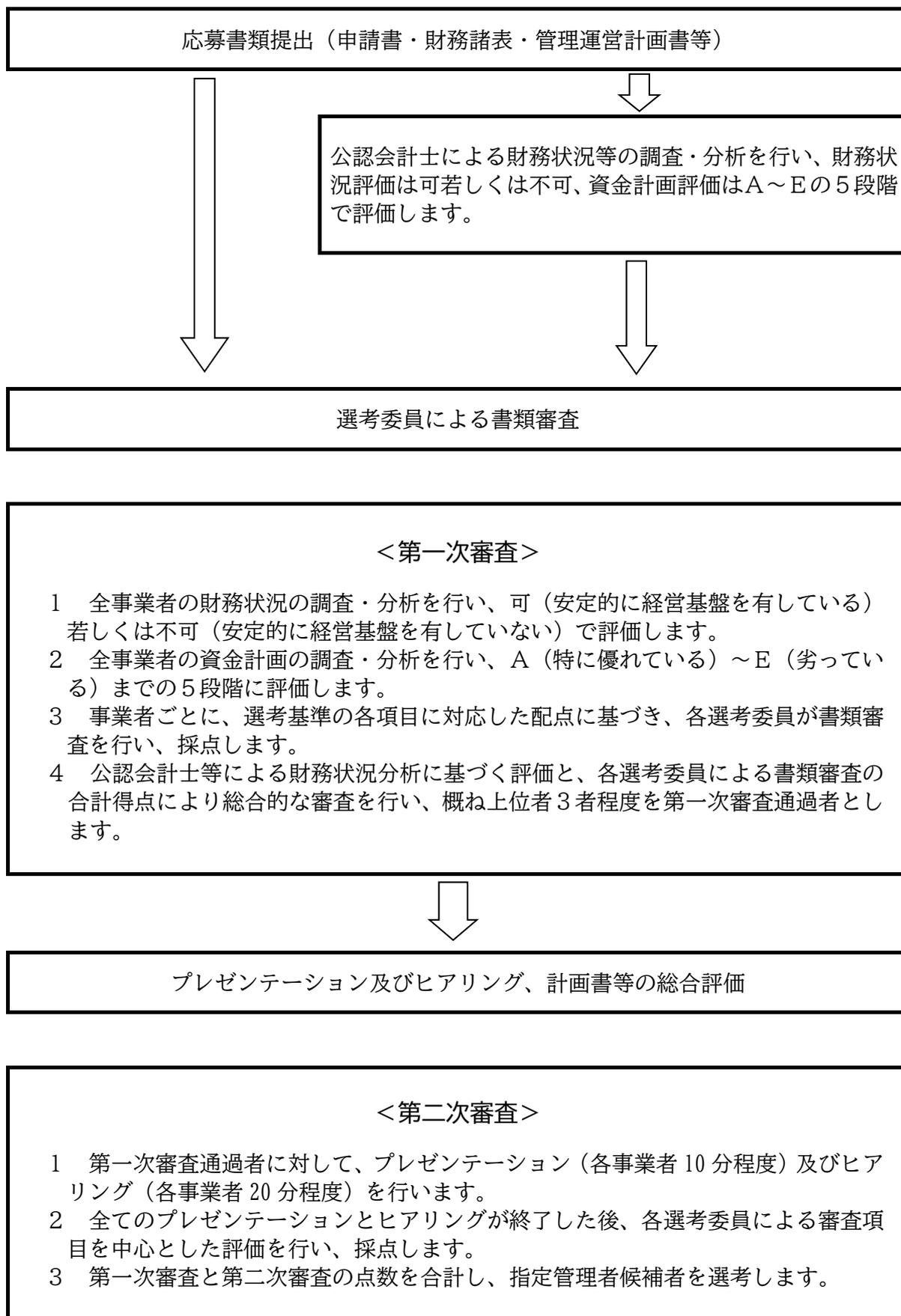
### 2 選考委員会の構成

委員長	松本 直樹	慶応義塾大学文学部准教授
副委員長	星川 邦昭 (令和5年3月31日まで)	港区教育委員会事務局教育推進部長
	長谷川 浩義 (令和5年4月1日から)	
委員	安形 輝	亜細亜大学国際関係学部教授
//	下山 佳那子	八洲学園大学生涯学習学部准教授
//	須賀 千絵	実践女子大学図書館学課程専任講師
//	竹村 多賀子	港区教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長
//	篠崎 玲子	港区教育委員会事務局学校教育部教育指導担当課長

### 3 公認会計士

井上 大輔	株式会社港公会計
-------	----------

## 4 選考の進め方



## 5 選考委員会等の開催状況及び経過

### (1) 第1回選考委員会

日 時 令和5年2月1日(水曜日) 11時~12時  
場 所 港区役所 教育委員会室  
議 題 委員の委嘱について  
候補者の選考方法について  
公募要項について  
選考基準について

### (2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 令和5年2月27日(月曜日)  
イ 現地見学会 2月28日(火曜日)  
ウ 申請受付(第一次提出) 2月20日(月曜日)~5月19日(金曜日)  
エ 質問書受付 2月28日(火曜日)~3月14日(火曜日)  
オ 質問への回答 3月28日(火曜日)  
カ 計画書類等受付(第二次提出) 2月20日(月曜日)~5月26日(金曜日)

### (3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 令和5年6月14日(水曜日) 10時~12時  
場 所 港区役所 教育委員会室  
議 題 応募事業者の財務状況等について  
第一次審査(書類審査)  
第二次審査の方法について

### (4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 令和5年7月6日(木曜日) 17時~20時45分  
場 所 港区役所 研修室  
議 題 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)  
候補者の決定について

### Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	A事業者	
2	B事業者	
3	C事業者 (ナカバヤシ株式会社 東京本社)	東京都板橋区東坂下二丁目5番1号

### Ⅳ 選考結果について

#### 1 第一次審査

##### (1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

##### ア 財務状況評価

各法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

##### イ 資金計画評価

各法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,400点満点)
1	A事業者	可	A	1,095
	A-1事業者	可		
	A-2事業者	可		
2	C事業者(ナカバヤシ株式会社 東京本社)	可	B	1,081
3	B事業者	可	B	995
	B-1事業者	可		
	B-2事業者	可		

※ 財務状況評価基準

可(安定的に経営基盤を有している)、不可(安定的に経営基盤を有していない)

※ 資金計画評価基準

A:特に優れている、B:優れている、C:普通、D:やや劣っている、E:劣っている

(3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
A事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理の運営実績が多く、非常に安定的な運営が行える点、司書の有資格率が多い点、研修が充実している点が評価できます。</li> <li>現在港区立図書館で実施している事業の延長線上のような事業提案が多かったように感じました。事業内容については具体的で実現可能なところは評価できます。</li> <li>情報発信について、広報の年間計画を立てるなど、計画的、体系的に実施するという点が評価できます。</li> <li>環境に配慮した取組について、SDGsと紐づけている点が良いと思いました。</li> </ul>
B事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員を1年経過後に無期雇用へ転換し、安心して働ける環境を整備しようという姿勢は評価できます。</li> <li>オンライン講座の実施やnoteでの広報など、現在の港区に</li> </ul>

	<p>において効果的と考えられる提案が含まれている点が評価できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案書類の内容に不十分な部分が見受けられました。</li> </ul>
<p>C事業者 (ナカバヤシ株式会社 東京本社)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々なチャネルを使った発信や意外性のある地域の異業種とのコラボ事業「図書館×(かける)〇〇プロジェクト」のように、新規顧客の増加をねらう施策が評価できます。</li> <li>・ 地域の分析を行っており、地域の特徴に合わせた運用・管理を行うことが期待できます。</li> <li>・ 地域資料の電子化は面白いと思います。「図書館×〇〇プロジェクト」は、図書館ごとに地域特性を生かして行うという点が目新しい工夫として評価できます。</li> <li>・ 他自治体での具体的事例を多く挙げており、港区版にアレンジし実施することで、新たなサービスが期待できます。</li> <li>・ 危機管理に対する取組や図書館として防災に関する情報発信を行うことにより、区民等の防災意識の向上を図る取組が具体的に記載されているところが評価でき、安心安全な施設運営が期待できます。</li> </ul>

以上の点を総合的に勘案して、採点集計表の順位のとおり3事業者を第一次審査通過者としました。

## 2 第二次審査

### (1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過3事業者がそれぞれ10分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき20分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

### (2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (2100点満点)	第一次審査点数 (1400点満点)	第二次審査点数 (700点満点)
1	C事業者 (ナカバヤシ株式会社 東京本社)	1,581	1,081	500
2	A事業者	1,570	1,095	475
3	B事業者	1,455	995	460

### (3) 選考経過

各委員が第一次審査通過3事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
A事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の図書館サービスが確実に実行されるという点で安心感があります。</li> <li>・体制が盤石であり、堅実な運営が確実に実行されると思います。</li> <li>・安定的な運営は期待できますが、新しい事業提案が少なく感じました。</li> </ul>
B事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案書類は具体性に欠けていた点や、説明不足な点がありましたが、プレゼンテーションにおいて具体的な説明がありました。</li> <li>・利用者のパソコン使用エリアの増設等の提案内容に関して具体的に検討しており、提案内容の実現について評価できます。</li> </ul>
C事業者 (ナカバヤシ株式会社 東京本社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信や居心地の良い空間づくりなど積極的な提案が見られ評価できます。</li> <li>・現在の港区及び港区立図書館の現状を十分に把握しており、その内容が提案内容に反映されていることが評価できます。プレゼンテーションからも施設を適切に運営していく上での誠実さが感じられました。</li> <li>・地域に根差した図書館を実現するために地域特性に応じた館を運営することについて、具体的に提案されていた点は評価できます。</li> </ul>

## V 最終選考結果について

### 最終選考結果

選考基準に基づき最も高い総合評価を与えられるのは、「ナカバヤシ株式会社 東京本社」です。選考委員会の総意として、「ナカバヤシ株式会社 東京本社」を港区立図書館（みなと図書館・麻布図書館・赤坂図書館）指定管理者候補者として選考します。